

# 踏み跡 <My Mountains>

尾瀬	沼山峠から尾瀬沼周辺散策	No.198
----	--------------	--------

長年山歩きをしていると、家族特に娘たちに山歩きの素晴らしさを体験させる機会があれば・・・と思うようになる。どうせ行くなら見るものがあるところ、またあまりハードではないところとなり、家族そろって尾瀬散策ということになった。とは言えども、仕事の関係でうまく夏休みが取れて、親よりも忙しい娘たちのスケジュールとの調整がついてとなると・・・。

結局8月も後半で尾瀬としてはちょっと半端な時期になってしまったが・・・。



## 昭和59年8月21日 <千葉→岩槻インター→今市→五十里湖→湯の花温泉>

天気は晴れ、初日は湯の花温泉に泊る計画なのでゆっくり12時の出発。  
 国道16号線経由で岩槻インターから東北自動車道へ。走り慣れた道を抜けて五十里湖で小休止、16時20分という時刻のせいもあるが気温は28度で千葉に比べると涼しく感じる。16時45分に出発。  
 山王トンネルを抜けて海拔722.5mの無人駅会津滝の原駅を見学ののち、今宵の宿湯の花温泉の「民宿ゆのはな」に18時10分に到着。  
 村の共同入浴場（勿論温泉）で老人や旅人が入り混じって入浴し、山奥のさびれた温泉を体感。

## 昭和59年8月22日 <湯の花温泉→沼山峠→尾瀬沼北岸散策→尾瀬沼ヒュッテ>

湯の花温泉を8時に出発。松枝岐で昼食を購入して沼山峠へ。  
 沼山峠9時10分着（ここまでの走行距離=342Km）。駐車場に車を置いて、すぐに出発。  
 ニッコウキスゲは殆ど種の状態になってしまい、まれに夏の名残りの花が残っている程度ではあるが、ワタスゲや紅さがひととき深いワレモコウなど十分に楽しめる。  
 尾瀬沼ヒュッテで昼食。今夜から二晩ここに泊るので、昼食後荷物を預けて散策開始。  
 尾瀬沼北岸を沼尻（ぬしり）、白砂湿原まで往復。燧ヶ岳は霧で終日姿を現さず、尾瀬沼湖面は風が強い。数々の植物を撮影したりスケッチしたり、水に手を触れたりゆったりとした自然観察の一日を過ごした。  
 尾瀬沼ヒュッテの夜、夕食はヤマメの甘露煮ほか、総木造りの風呂は洗剤等一切使用禁止、部屋は三号室

## 踏み跡 <My Mountains>

六畳に四人、チョイと窮屈かな。

夕食の後ビジターセンターで映画とスライド。尾瀬の成り立ちと歴史がわかり子どもたちにもわかりやすくてちょうど良かった。

### 昭和59年8月23日 <尾瀬沼ヒュッテ→尾瀬沼左回り一周→尾瀬沼ヒュッテ>

「食事ができました」と起こされたのが6時半。

外は雨なので朝食の後はゴロゴロしたり五目並べをしたりで過ごした。

昼食後、雲も上がり気味になって雨も小降りになってきたので、傘をさして散策ということに。

今日は尾瀬沼の南岸を散策。地形図で見た様子、昨晚ビジターセンターの説明で得た予備知識どおり、北岸と南岸とではかなり違いがあつて面白い。尾瀬の成り立ちとの関係が自分の目で確認できて面白い。

沼尻まで行ったところで、Uターンせず北岸を回って帰った（つまり沼を一周）。

今夜の食事は、木の葉や山菜の天ぷら、酢の物などなど。

明日は天気が良くなりそうだ。

### 昭和59年8月24日 <尾瀬沼ヒュッテ→小淵沢田代往復→大江川湿原→沼山峠→会津若松→千葉>

5時起床、朝から気持ちの良い快晴で燧ヶ岳はくっきりと見え、尾瀬沼は朝靄の中で幽玄の世界。

(右写真)

食事の前に朝の散策としゃれこむ。5時10分にヒュッテを



出発し、小淵沢田代を往復。日光連山は白根山まで、さらにその右に赤城山も見える。6時55分ヒュッテに戻り、朝食。

沼山峠への帰り道は、大江川湿原、平野家墓地、沼山峠頂上などで頻々と休憩をとりながら景色を楽しんだ。

(下写真：大江川湿原)



沼山峠駐車場10時30分。尾瀬の汗が染みついた衣類を脱いでドライウェアに着替えて11時に出発。

桜枝岐の村営の浴場で入浴後、村営休憩所で昼食をとって帰宅の途に。

会津山口、駒止峠、会津田島と会津のいいところを走り抜けて、会津若松、猪苗代湖、野口英世記念館……。

しばし国道を走り、郡山インターから東北自動車道に入り自宅に22時30分に帰着。

(今回の旅での走行距離合計=814.4Km)



さらば尾瀬沼（沼山峠への道より）  
以上